

講義名	小売国際化論		
科目区分	展開		
担当教員	白 貞壬		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 1時限	授業形態	
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース/2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース/2019年度 人間社会学部 人間健康学科/2019年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース/2019年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース/2019年度 人間社会学部 観光学科/		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

<b>主題と概要</b>
小売国際化論は、小売業において国際化という現象がどのような動きとして現れているかを理論的に分析することにある。この授業では、小売企業の国際競争力をテーマにし、小売業はいかにして国際的に競争力を発揮するかの問題を明らかにしたい。この課題を達成するためには、「小売国際化」の基礎理論を学び、その理解を前提として複数のケースを取り上げて現状を正確に把握する。そうすることによって、現代の流通論に欠かせない小売国際化論を身につけることができる。

<b>到達目標</b>
グローバル的視点で物事を考える能力が身につく。

<b>提出課題</b>
期末レポートを課す予定である。

<b>課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック</b>
小テストおよび中間テストの模範答案を解説し、採点結果を授業中に公表する。

<b>評価の基準</b>
実施予定の小テスト（20%）、中間テスト（40%）、期末レポート（40%）の3つにより総合的に評価する。

<b>履修にあたっての注意・助言他</b>
1 指定席（学籍番号欄）にする。 2 教室内での私語及び飲食、不要な出入り、携帯電話の使用などは厳禁する（摘発時減点）。 3 2回の小テストおよび中間テストを行う。 4 授業開始から15分後の入室は禁止する。 5 授業中にやむを得ずお手洗いにいく際は、許可を得てから行く。

<b>教科書</b>
.小売業のグローバル・イノベーション。 白 貞壬 中央経済社 3,000+税 978-4-502-29861-5

<b>プリント資料及び参考文献</b>
講義のはじめにプリント及び関連資料を配布する。 参考文献としては、 佐々木保幸・鳥羽達郎編著『欧米小売企業の国際展開』中央経済社（2019） 鳥羽達郎・柳 純編著『日系小売企業のアジア展開』中央経済社（2017）

<b>授業計画</b>
1 第1章 現地新生小売業はいかにして先端国際小売業に生まれ変わるのか 2 第1章 現地新生小売業はいかにして先端国際小売業に生まれ変わるのか 3 第2章 グローバル・イノベーションとは何か 4 第2章 グローバル・イノベーションとは何か 5 第3章 日本市場における先端国際小売業と需要創造 6 第3章 日本市場における先端国際小売業と需要創造 7 第4章 内なるグローバリゼーションと小売業態の発展 8 中間テスト 9 第5章 現地新生小売企業の成長と国際化行動 10 第6章 日本型CVSと韓国型CVSの生成・発展プロセス 11 第7章 アジアにおけるセブン・イレブンの創造的適応 12 第8章 イケアの日本進出とホームファニッシング業態 13 第9章 イケアの参入と韓国家具インテリア市場の拡大 14 第10章 小売国際化におけるイノベーションの発生と企業の進化 15 第10章 小売国際化におけるイノベーションの発生と企業の進化

<b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b>
<input type="checkbox"/> ア：PBL（課題解決型学習）
<input type="checkbox"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="checkbox"/> ウ：ディスカッション、ディベート
<input type="checkbox"/> エ：グループワーク
<input type="checkbox"/> オ：プレゼンテーション
<input type="checkbox"/> カ：実習、フィールドワーク

<b>準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間</b>
教材を事前に読んでおくこと

<b>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</b>

<b>実務経験の有無及び活用</b>

<b>備考</b>